

平成 29 年度における主な富山県のがん対策事業について

I 予防の強化と早期発見の推進

1. がんにかからない生活習慣の確立

(1) 食の健康づくり推進事業

野菜摂取の促進や減塩メニューなどの提供を行う飲食店を「健康寿命日本一応援店」として広くPRし、利用促進を図る。(H30. 3. 12 現在 応援店 138 店舗)



(2) 野菜をもう 1 皿！食べようキャンペーン事業

- ・野菜摂取 1 日 350g の目標達成に向けた普及啓発を県内全域で実施するため、スーパー、コンビニ等と連携しキャンペーンを展開
(H30. 3. 12 現在 協力店 494 店舗)
- ・家庭でも「手軽に」「美味しく」野菜摂取できるレシピをプロデュース
(H29. 6. 30 ラ・ベットラ 落合シェフと石井知事がお披露目会)



(3) 働き盛りの健康づくり支援（健康ポイント）事業

- ・スマートフォンアプリを活用し、ウォーキングや健康診断の受診などの健康行動をポイント化し、インセンティブを付与
- ・H29. 9. 1 稼働開始（ダウンロード数 H30. 3. 12 現在 4,010 件）



(4) 生活習慣改善ヘルスアップ（健康合宿）事業

食事や運動の体験を通じて、生活習慣の改善の意識を高める 1 泊 2 日の健康合宿を開催（29 県内 6 ヶ所×2 回＝計 12 回開催、参加者数 148 名）

【参考（これまでの成果）】合宿終了 3 ヶ月後の参加者の体重・腹囲の変化

- ㉗ 体重△3.0kg・腹囲△4.8cm ※3 ヶ月後アンケート回答者(31 名)の平均(参加者数 31 名(定員 30 名))
- ㉘ 体重△1.2kg・腹囲△6.8cm ※ " (体重 53 名、腹囲 23 名)の平均(参加者数 77 名(定員 90 名))
- ㉙ (現在、集計中) (参加者数 148 名(定員 180 名))

(5) たばこ対策

①禁煙及び受動喫煙防止に関する普及啓発

(a) 禁煙週間 街頭啓発キャンペーン

*禁煙週間（5月31日～6月6日）に併せた取組み

< 県 > 日 時：5月31日（水）7：30頃～

場 所：富山駅周辺

内 容：普及啓発物品（ティッシュ）の配布

<市町村> 高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町



(b) 普及啓発物品の貸出し・配布

- ・タペストリー（世界禁煙デー、受動喫煙防止、受動喫煙防止ステッカー紹介）
- ・のぼり旗
- ・ビブス
- ・禁煙および受動喫煙防止リーフレット

(c) 事業主を対象にしたセミナーの開催

②大学生と協働した喫煙防止の取組（No Smoking Campus プロジェクト）

(a) 実施大学：富山大学(H26～)、県立大学(H27～)、富山国際大学(H28～)
高岡法科大学(H29～)

(b) 内 容：プロジェクトメンバー養成研修会の開催（県実施）、大学生によるプロジェクトの展開
※大学構内での禁煙キャンペーン、大学祭でのブース設置等



③受動喫煙防止推進施設への支援

受動喫煙防止対策に取り組む施設等への受動喫煙防止ステッカーの配布

<配布施設数>

H24 年度	53施設489枚
H25 年度	88施設724枚
H26 年度	105施設681枚
H27 年度	126施設902枚
H28 年度	96施設783枚



(6) 肝炎対策

市町村における肝炎ウイルス検査（40歳以上の方が対象）に加えて、県厚生センター・支所（8箇所）や県委託医療機関33箇所※においても肝炎ウイルス検査を実施

※県厚生センター・支所、県委託医療機関における肝炎ウイルス検査は、自覚症状等により肝炎ウイルスの感染に不安を持っている場合に受検できるもの（原則20歳から受検可能）

2. がんの早期発見体制の強化

(1) がん検診受診に関する普及啓発

① 女性をターゲットとした取組み

女性向けのがん検診受診啓発リーフレットを新たに作成し、県主催の女性向けイベント等を活用した普及啓発を実施

※リーフレット配布先：思春期ピアサポーター養成講座、県主催イベント（就職セミナー、煌めく女性リーダー塾、食の王国フェスタ等）、県内の大学、専修学校等



② 啓発イベントの実施

各種のイベントを活用した啓発キャンペーンを実施

① 春（検診開始時期）

例年、街頭キャンペーンを実施している「世界禁煙デー」に併せて、各市町村と連携したがん検診普及啓発を実施

日時：平成 29 年 5 月 31 日（水）（世界禁煙デー） 7：30～8：30（県）

場所：（県）富山駅周辺

（各市町村）駅やショッピングセンター等、PRが効果的に実施できる場所

内容：駅や店舗入口でのティッシュ等の配布、のぼり旗による啓発等

※H29 年度は、希望のあった 10 市町村へ啓発物品の提供等の支援を実施



② 秋（がん征圧月間～ピンクリボン月間）

「越中とやま食の王国フェスタ 2017 秋の陣」において、がん検診啓発用ブースを設置して普及啓発を実施

日時：平成 29 年 11 月 4 日（土）5 日（日）

場所：テクノホール（富山産業展示館）

内容：がん検診啓発ブースを設置し、乳房触診モデルの展示やがん検診啓発 DVD の放映がん検診啓発物品の配布など



(2) ピンクリボン月間（10月）における普及啓発

① 女性のがん対策フォーラムの開催

がん検診受診の重要性を理解するとともに、がんと向き合いながら自分なりの生活を考える機会となるようフォーラムを開催するもの。（詳細は、8 ページのとおり）

② 施設のピンクライトアップ

10 月のピンクリボン月間に合わせて、県有施設等のピンクライトアップを実施

実施場所：富岩運河環水公園、県庁前公園、インテック本社ビル（株式会社インテックによる実施）

(3) ④がん検診受診率向上支援事業

28年度にモデル的に実施（魚津市・大腸がん）した科学的根拠に基づく勸奨手法について、市町村に情報提供を行うとともに、各自自治体が発している受診勧奨等について、講師（株）キャンサーズキャン）による個別相談会を実施

①研修会の開催

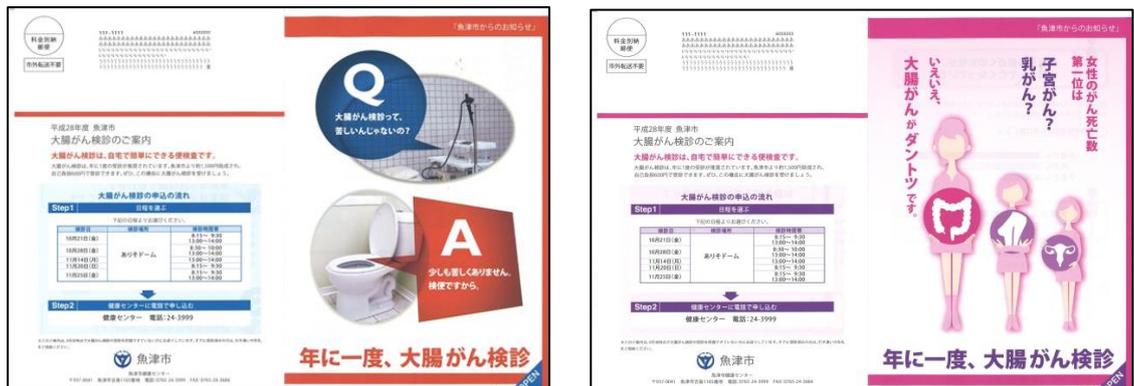
科学的理論に基づく受診率向上の取組みを実践するための研修会を開催

- 日時：平成29年7月25日（火）
- 内容：県内全市町村を対象に、受診率向上に向けて施策について、取組み事例等の講演を行うほか、参加者が自らの市町村の課題発見を図るためのグループワーク等を行う。
- 講師：（株）キャンサーズキャン（厚生労働省から受診率向上ハンドブックの作成を受託するなど、受診率向上事例について、数多くの取組み経験を持つ。）

②個別相談会

講師が各市町村に赴き、各市町村が発している受診勧奨や勧奨素材等について、より効果的な取組みとなるよう個別相談会を実施

- 対象：4市町村（魚津市、小矢部市、立山町、入善町）
- 日時：平成29年8月30日（水）、9月6日（水）



28年度の魚津市での取組みで活用した受診勧奨用リーフレットのイメージ
 ※28年度下半期に上図のリーフレットを活用した個別勧奨を行ったところ、
 下半期の集団検診受診者数は前年度に比較して約2倍となった。

(4) ④肺がん検診のデジタル化（平成29年度～）

アナログフィルムでの撮影・読影を行っていた肺がん検診について、平成29年度からはデジタル機器を導入し、さらに、従来までの撮影・読影業務を県と検診機関で分担する体制を見直し、検診機関で一括して行う体制へ移行
 ※これにより、鮮明な画像を用いての読影によるがん発見率の向上や、検査結果通知に要する期間を短縮させる等の効果が期待できる

(5) ④節目検診推進事業・重点年齢検診推進事業

市町村の節目年齢検診（5歳毎）や女性のがん検診における重点年齢（乳がん：40代のうち節目を除く2回、子宮頸がん：20～30代のうち節目を除く4回）における受診料軽減を支援

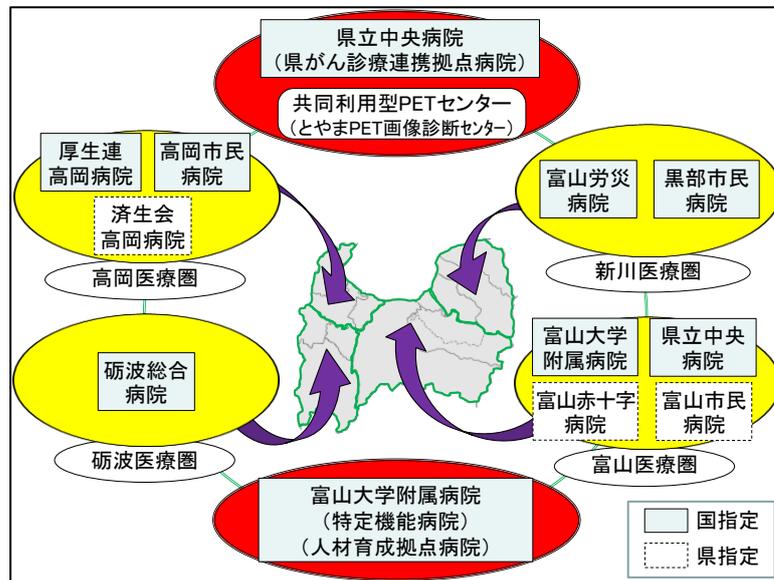
Ⅱ 質の高い医療の確保

1. 質の高い医療が受けられる体制の充実

(1) 富山県のがん診療体制の構築

- ① 10のがん診療連携拠点病院（29年度現在、国指定7病院＋県指定3病院）が連携協力し、二次医療圏毎に集学的医療、緩和ケア、在宅療養支援を提供できる体制を構築
- ② 特定機能病院・人材育成拠点病院である富山大学附属病院は、高度先端医療を提供するとともに、専門看護師教育課程で「がん専門看護師」を養成する等、県全体のがん診療人材の育成を推進。

(参考 富山県のがん診療体制)



(参考 富山県立中央病院「先端医療棟」の実績)

高度ながん医療の提供等を目的にH28年9月竣工・稼働（年間運営費24億円）

- 1 最新鋭のがん検査・治療機器の導入で早期発見・治療
 - ◆MR I：検査待ち期間が8週間→1週間に短縮（検査件数:33%増）
 - ◆C T：検査待ち期間が4週間→当日に短縮（検査件数:13%増）
- 2 ロボット手術やハイブリット手術といった最新治療方法や患者への負担が少ない次世代の低侵襲手術が実現
 - ◆大腸の内視鏡手術の待ち期間が2～4週間→1週間に短縮
 - ◆「ダ・ヴィンチ」による前立腺がん全摘手術を30件実施（～H29.12月）

手術支援ロボット「ダヴィンチ」



内視鏡センター



2. 調査・研究の推進

平成 28 年 1 月より「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」*制度が開始。実務面での習熟度の向上や制度周知のため、病院等の実務担当者向けの講習会を開催した。

※全ての病院及び申請に基づき県知事が指定した診療所において、がん罹患等に関する届出が必要となる制度

○実務者講習会の開催について

- ①日 時：平成 29 年 12 月 16 日（土）
- ②場 所：富山県立中央病院 診療棟 5 階ホール
- ③講 師：福井県立病院 病理診断科主任医長 海崎 泰治 氏
(演題「全国がん登録－登録の実際」)
- ④出席者：75 名（病院 63 名、診療所 2 名、その他 10 名）
- ⑤その他：県診療情報管理研究会との共催により開催

Ⅲ 患者支援体制の充実

1. がん患者の支援体制の充実

(1) 富山県がん総合相談支援センターの運営

○概要

設置：平成25年9月2日（委託：県社会福祉協議会）

趣旨：がん患者及びその家族からの医療、心理、生活・介護、就労などの様々な相談に対応するとともに、がんに関する様々な情報を提供する総合相談窓口として設置

業務：①相談／平日9時～16時 土13時～16時

②情報提供

③ピアサポーター養成・育成・活動支援

④患者等の交流支援 等

相談員：看護師3名により対応

○H28年度実績・H29年度計画

	H28年度	H29年度
相談	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 1,006件（再利用594件） 看護の日「出前がん支援相談」 働く人の日曜相談会（2回）6件（個別相談） 	<ul style="list-style-type: none"> 相談対応 看護の日「出前相談」 働く人の日曜相談会（年2回） がん征圧月間に併せ、日曜相談（3回予定）市町村のイベントに併せて出張相談の開催（市町村の要望に応じて対応）
情報提供	図書 約300冊 雑誌 等 小冊子（約60種類 国立がん研究センター編） センターホームページ 随時更新 ポスター・チラシ配布（病院・自治体） がん情報とやま 改訂支援 ヘルสบランチャ等への講演 等	継続的にがんに関する良書を選定 同左
ピアサポーター養成・育成活動支援 ピアサポーター目標60名/5年間	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座7回 受講者20名 活動登録者（H29.4月現在）71名 フォローアップ研修4回 受講者120名 ピアサポート活動 <ul style="list-style-type: none"> ①センター（交流サロン）：12回 患者等参加者134名 ピアサポーター44名 ②拠点病院（患者サロン）：26回 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡砺波総合にて実施 患者等参加者135名 ピアサポーター99名 ③がん教育（小中3校）での講師（自らの体験と命の大切さを語る）等 	H29.9月～ピアサポーター養成講座開始 ピアサポーターフォローアップ研修（年4回） ピアサポート活動 <ul style="list-style-type: none"> ①センター（交流サロン） 毎月第4土曜日 13:30～15:30 （9月、12月は祭日と重なるため変更） ②拠点病院（患者サロン）：32回 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡砺波総合にて実施 （他のがん拠点病院にも働きかけている） ③グリーフケアの会（年3回開催予定） ④がん教育での講師 ⑤健康づくりボランティア等への講演（自らの体験やがん検診の必要性 等）
患者会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 随時（患者会代表者などが来訪） 小児がん講演会・交流会：参加者44名 	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん講演会・交流会：H29.8.6（日） 講師：富山大学附属病院 野村医師
他との連携	<ul style="list-style-type: none"> 拠点病院相談支援部会への参画 拠点病院相談員情報交換会開催 拠点病院相談員研修会に参画 国・県の労働関係部局との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点病院相談支援部会への参画 拠点病院相談員情報交換会開催 拠点病院相談員研修会に参画 国・県の労働関係部局との連携

(2) ㊦「女性のためのがん対策フォーラム」の開催

本県においては、女性のがん患者のうち、乳がん罹患者数がもっとも多い状況であるため、女性のがんに関する知識の普及啓発及びがん早期発見・早期治療の重要性について理解を深めるとともに、自身ががん患者となった時の生活のあり方を考える場となることを目的としたフォーラムを開催。

日 時：平成 29 年 10 月 28 日（土）13:00～16:30（開場 12:30）

場 所：富山国際会議場メインホール 及び ホワイエ

参加者：県内のがん患者やその家族をはじめ、県民一般 約 400 名

内 容：①基調講演 「乳がんの標準治療と検診のススメ」

前田 基一先生（富山県立中央病院外科部長）

②特別講演 「5度の手術と乳房再建 1800 日」

生稲 晃子氏（女優）

③トークセッション 「がん患者と社会とのつながり」

生稲 晃子氏 、 前田 基一先生、

内上 ミワ子氏（富山県がん総合相談支援センター統括相談員）

酒井 裕美氏（富山県立中央病院緩和ケアセンター部ジェネラルマネージャー兼上席看護師長）

池田 良美氏（がんピアサポーター）

川村 幹夫氏（がんピアサポーター）

④各種ブースの出展

（患者会、検診センター、相談支援センター、ウィッグ展示、ハーブティーマー診断、メイクアップ 等）



各種ブースの様子